

ひよこ通信

ひよこの会会報 令和4年5月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81
電話 & Fax 047-450-9144
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

◇障害を抱える子どもたち

障害を抱える子どもは幼児期を経過し学齢期を迎えると就学先の選択に迫られます。

その昔は、障害の種別によって盲、聾、養護学校のどこかに振り分けられた。今は特別支援学校として名前が一本化された。

最近は、統合などで空いた校舎を活用してか、特別支援学校数が増加しています。更に小学校や中学校に特別支援学級の併設が続いています。入れ物が増えても、その中身が追い付いていかなければと思います。ダイジョーブでしょうか。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています

◇発達障害について

発達障害とは、生まれつきの脳機能の発達の偏りによる障害なんだそうです。得意・不得意の特性と、その人が過ごす環境や周囲の人との関わりのミスマッチから、社会生活に困難が発生します。そのため、発達障害の特性を「自分勝手」「我儘」などと捉えられ、「怠けている」などと批判されることも少なくないといわれます。しかし、特性ゆえの困難さは、環境を調整し、特性に合った学びの機会を用意することで軽減されるそうです。

日本で子どもの人口が減少する中、「発達障害」と呼ばれる子どもは増え続けているんだそうです。2002(平成14)年の文科省の調査によれば、発達障害の可能性のある子どもが6.3%在籍、2012(平成24)年の文科省の調査によれば、発達障害の可能性のある子どもが6.5%在籍している。2022(令和4)年にも第3回目の同様の調査を予定している由。

文科省調査の調査研究会のメンバーによれば、「障害」と「健常」と呼ばれる子どもの中間に、「発達障害」の子どもがいる。その溝にいる子どもへの支援を連続的に行うべきという考えから先の調査に繋がったらしい。

発達障害者支援法(2004.12.10公布)では「自閉症、アスペルガー症候群その他の広範性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されました。この法律により、発達障害のある人が必要に応じて福祉サービスなどの支援を受けることができるようになりました。

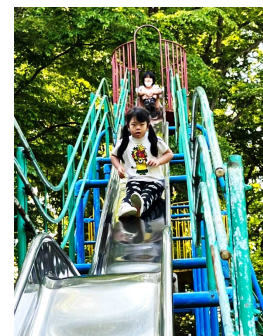
◇強度行動障害について

強度行動障害とは、自分や人を傷つけたり物を壊したりするなど、周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が高い頻度で起きるため、特別な支援を必要としている状態のことで、基本的特性+後天的要因により二次障害化したものといえそうです。そしてこれは医学用語ではなく、行政・福祉の場において使われている用語だそうです。

その昔、「動く重症児」という言葉があったとか、また家族が座敷牢のような中に閉じ込めて対応したケースもあったとか。今では、強度行動障害の多くは自閉症からであることが知られています。そして支援する道具が揃ってきて、**強度行動障害者支援者養成研修**が、2013(平成25)年から実施されています。この研修内容が、当該サービス支援者の全て、更に教員などにも行き渡ることを。

千葉県では、強度行動障害のある児童など民間で受入れ困難な障害児、被虐待児などを積極的に受入れる施設、県立千葉県袖ヶ浦福祉センター「養育園」が1967(昭和42)年に開設されました。強度行動障害児を家族にもつ保護者はここに「光」を見たと思います。しかし乍ら、入所者の多くは「虐待」に遭遇、痛ましい死者まで出してしまった。そして「養育園」は閉鎖され、「福祉センター」は2023(令和5)年3月までに廃止と発表されています。入所していた人たちを誰が支援することになるのでしょうか。

◇にじと風、施設内での行事から
 ☆5/5(木祭)緑地公園ピクニック、5/7(土)運動会



人気のない所を探して、探して、ピクニック、滑り台は人気



運動会!!、いざ!!

パン食い

玉入れ、よく狙いをつけて!

風船リレー、フライパンが重い!



◇5月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	4/9(土)、9:00-10:00	資源回収	2,484	大野晃
2	5/1(日)	市役所フリマ	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)
3	5/14(土)、9:00-10:00	資源回収	0	大野晃(実績報告待ち)

◇これからの予定

- 6/5(日) 市役所フリマ(八千代 遊・友・バザール) /⇒中止
- 6/11(土)、9:00-10:00 資源回収
- 6/18(日)、10:00- 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)、令和4年度通常総会

◇編集後記

新型コロナ感染拡がりのスピードは鈍化しているものの、収束の気配には至っておりません。まだしばらく辛抱することになりそうです。

袖ヶ浦福祉センター養育園事件については、皆さんもご存じの通りです。この施設にはにじと風を卒園したAさんとBさんが入所されていました。二人とも大人の仲間入りをしています。閉鎖に伴い、Aさんは早めに次の施設へ、Bさんは納得の場所が中々見付からず期限ギリギリに県外の施設に落ち着き、現在は元気に生活をしています。新しい所で自立に向けた成長をして地域に戻ってきてほしいと思います。(吉野康生記)